



グループホーム

日帰り旅行 ～銚子ぶらり旅～



グループホームでは秋の行楽シーズンに日帰りで『銚子』へ行ってきました！近年では新型コロナウイルスの影響で宿泊や、人が集中的に集まるような場所への外出を自粛しておりました。しかし、近頃ではコロナ対策を講じつつではありますが徐々に日々の活動範囲を広げる事が出来ており、そんな中での日帰り旅行となりました。

青空の下、みんなを乗せたワゴンは一路『銚子』を目指します。朝からのワクワクをそのままに、ポートタワーで太平洋を一望して昼食へ。レストラン『うおっせ』では、海の幸に舌鼓。色鮮やかな海鮮丼やアナゴ天丼のボリュームに圧倒されながらも、「うまい！」「久しぶりに刺身を食べた！」など、楽しい会話も早々にあっという間に完食です。昼食後は少し移動してメインイベントの『銚子電鉄』へ。レトロな車両に揺られながら車窓から見える景色を堪能しました。終点の戸川駅では、ぬれせんべいやたい焼きをパクリ！久しぶりの日帰り旅行に利用者の皆さんも大満足の様子でした。



のんびり高滝湖畔ハイキング

11月18日、天候にも恵まれたこの日は高滝湖畔にハイキングに行ってきました。風は少し冷たいですが日光は暖かく、歩くにはちょうど良い気候です。まずは高滝神社にお詣りをし、ハイキングの無事を祈ってから湖畔へ出発！湖畔で行っていたレスキュー隊の練習風景や、湖上でボートに乗って釣りをしている人たちを眺めたり、お話をしながら沢山歩く事が出来ました。途中で飲み物を購入し休憩を挟みながら秋が深まっていく高滝湖畔を楽しく歩く事が出来ました！次はどこへ行こうかな～★



学園イベント

第40回市原市障がい者スポーツ大会

10月16日市原緑地運動公園臨海体育館で第40回市原市障がい者スポーツ大会に参加してきました。ここ数年は新型コロナウイルスの影響で中止になっておりましたが、ようやく再開されることとなり、吉沢学園からは2棟の利用者様と女性のグループホームの利用者様が代表として参加しました。それぞれチームに分かれターゲットポッチャ、パン取り競争、箱ツムツムレースなど色々な競技に参加しました。

数年ぶりの参加となりましたが、利用者の皆様はブランクなど感じさせず、真剣に力いっぱい競技に参加していました！一致団結して笑顔があふれる楽しいスポーツ大会となりました。



実りの秋、収穫祭



秋といえば実りの秋！実りの秋と言えば収穫祭！ということで、当施設のグラウンド脇にある畑にサツマイモの苗を植え、水やりや草刈りなど手入れを行いながら利用者さんと職員で協力して育ててきました。そしてついに収穫の時期を迎え、小さなものから大きなものまでたくさんのサツマイモが収穫できました！収穫したサツマイモと一緒にみんなで写真を撮り、また一つ思い出が増えました。サツマイモは後日、厨房さんに蒸かし芋を作っていただき、みんなで美味しくいただきました。

イルミネーション見学

12月7日、今年もクリスマスの時期に合わせてクオードの森では「森のイルミネーション2022」が開催されており、利用者様と職員で見学に行ってきました。

12月の澄んだ空気の中でライトアップされたイルミネーションは色鮮やかで、ハートや雪だるま、クリスマスツリーにプレゼントボックスなど、様々なオブジェを見ながら利用者様も楽しそうに過ごしておりました。



学園イベント

クリスマス会



12月21日、クリスマス会開催！厨房さん特製クリスマスプレートは、今年もとっても美味しく大満足でした！職員余興では、みんなを巻き込み会場全体で大熱狂！皆さんいい笑顔です♪今年も保護者会からご寄付をいただき、職員が利用者さん1人1人にプレゼントを選びました。袋を開けると好きな物や欲しかった物が！？喜んでる姿を見て私たちも嬉しくなりました。大盛り上がりで幕を閉じたクリスマス会。来年もお楽しみに！

新春かるた大会

新年最初の交流会は「かるた大会」を行いました。かるたに書かれているイラストは馴染みのある『動物』や『食べ物』を使用して作った B5 サイズ程のお手製かるたです。職員が上の句を読み上げると、利用者様が前のめりになりながら絵札を探し、かるたを取れた時には「取れたよ！」と笑顔で職員に話し掛けていました。カルタ大会後にはみんなでお汁粉を食べ、大満足な「かるた大会」となりました。



起震車体験

2月14日、避難訓練とともに起震車体験を行いました。3年ぶりとなる起震車ですが、久しぶりということも利用者さんは大変興味津々でした。起震車を体験し、利用者さんの反応は様々でしたが最初はにこやかに乗りに行った人も地震の怖さや凄さにより驚いている人が多く見られました。災害はいつ何時起こるか分かりません。そういった時の為にも、防災意識を高める経験として今後も起震車体験を継続していきたいと考えています。



TABI Café

山菜の王者 ～自然薯～



TABI Café で立派な「自然薯」が並んでいます。高価な自然薯ですが、とってもリーズナブルに販売しています。

一般的な自然薯は、山から掘り出して収穫しますが、出荷されている物は近隣農家の方が畑で栽培したものです。試行錯誤を繰り返し、見た目

も味も天然そのものです。生産者様によると「作り始めて 20 年になるが、まだまだ天然物にはかなわない！」と、日々研究を重ねているそうです。

すりおろし、出汁でのばした「とろろ」が定番ですが、短冊に切って酢醤油で和えても美味しいです（海苔も一緒に）。また、磯部揚げやバター炒め、ぬか漬、醤油漬にしても◎です。その他にも新鮮な野菜が沢山ございますので来店された際にはぜひ！



学園トピックス

ご寄付のお礼

保護者会からのご寄付によりハイエースを購入させていただきました。新型コロナウイルスの位置づけも令和 5 年 5 月 8 日より 5 類へ移行になる事で、活動の幅も徐々に広がっていくと思います。その際にはご寄附いただきましたこの車両でご利用者の皆様が季節を感じ、心身ともにリフレッシュしているような外出を行っていきます。この度のご寄附、誠にありがとうございました。



ジョブハウス もみの木

喫茶お休みします



この度、福祉ショップ&喫茶もみの木は、建替（リニューアル）を予定しております。そのため令和 5 年度の一年間は、喫茶での飲食及び店内での地域野菜や工芸品の販売をすべて一旦お休みさせていただきます。4 月現在建替え工事の予定は遅れておまして、工事の着工・終了は未定です。旧建物は新築が終わるまでそのままですが、内部では利用者さんと職員で日中活動を行っていきます。パン製造も続けて、販売車両 2 台で訪問販売と新たに巡回販売ルートを増やして活動していきます。今までご利用頂いたお客様方には大変ご迷惑をおかけいたしますが、リニューアルオープンまで、今しばらくお待ち下さいますようお願い申し上げます。

児童発達支援事業 & 放課後等デイサービス

こどもステーション三和

サンタに変身！？クリスマス会



毎年恒例のクリスマス会、今年はみんなでサンタさんに変身！お部屋にたくさんのサンタさんが集まりました。レクレーションでは絵探しゲームや制作活動で作ったオーナメントをクリスマスツリーに飾って完成した壁面の前で「ハイ、ポーズ！」撮影会もできました。お楽しみの1つでもあるお昼ご飯は、ショップもみの木にクリスマスバージョンのお弁当を注文。見た目にも可愛く、ボリュームもあり子ども達も😊嬉しそうでした。



こどもステーション菊間

千葉市動物公園へ遠足！



令和4年11月19(土)千葉市動物公園に行ってきました。出発後の車内では「ガオー！ライオン見る！」「ゾウもいいな～」と、何の動物に会えるか楽しみにしている話し声が響いています。(^^♪そんな中でも1番の話題に上がったのが『フクロテナガザル🐼』です。皆さん知っていますか??喉を風船のように大きく膨らませて、大音量で鳴く猿です!!動物園に到着し、いろいろな動物たちを見ながら楽しく園内を歩いているとつい『フクロテナガザル🐼』とご対面です!その鳴き方と鳴き声の大きさに、子ども達は目を丸くして驚きと面白さで、大笑いでした😊気になる方は是非、フクロテナガザルに会いに行ってみてください♪

こどもステーション東国分寺台

みんなでみかん狩り



11月の東京ドイツ村。子どもたちと、みかんの山を目指します。

最初は勢いよく登っていたけれど・・・

「まだかなあ・・・」長い上り坂にちょっと疲れが見えてきた頃、みかんの沢山になっている木を発見!再び元気になった子どもたち。

「おいしい～」食べるのに夢中の子どもたちに「おうちの人へのお土産の分も忘れずにとってね」と職員。上手に取ることが出来る子は、お友達へのお土産分も取ってくれました。おいしかったね。また行こうね!

ジョイサポート三和

ハッピーハロウィン!

10月31日、全体行事「ハロウィンイベント」が行われました。利用者さんはカボチャ、カウボーイ、魔法使いなどなど、気に入ったコスプレに身をまとい気合十分。意気揚々と所内を練り歩く姿はまさに圧巻の一言です。生活介護はお菓子のつかみ取りと箸袋作り、カラフルな作品が揃いました。就労はお菓子バイキングで楽しんだあと、うちわ風船バレーのゲームに興じました。笑顔や笑い声の絶えないイベントは大成功で幕を下ろしました。



節分会



2月は1年を通して寒さが厳しい時期ですが今年は暖かい日もあり、2022年2月3日（節分）は天候に恵まれました。ジョイサポート三和は暖かい日差しの中で節分会を行いました。

コロナが少し落ち着きを見せてきたので今年は生活介護・就労と同時に豆まきをしました。中庭に赤鬼・青鬼が登場すると、利用者さんも職員も福升を手に、外に出て鬼退治をしました。マスク越しに「鬼は外、福は内」の元気な声が聞こえ、力強く鬼に向かって豆を投げる姿が見られました。

豆を全部投げ終えて鬼を退治したところで節分会は幕を閉じました。

フィンランド発祥のスポーツ『モルック』

令和4年度、生活介護では新たなレクリエーションをいくつか取り入れてきました。その一つ「モルック」が利用者さんに大好評です。モルックはフィンランド発祥のスポーツで、木製のピンに棒を投げ、点数を競うというものです。投げる動作は体を動かしますがさほど複雑ではなく、また戦術を練ることは頭脳も使いますので、介護のレクとしてはなかなか優れたスポーツです。

利用者さんからリクエストの多いレクの一つになりました。



浅井小向デイサービス えん（地域密着型通所介護事業）

願いを込めて絵馬づくり

浅井小向デイサービスえんは、絵馬を作りました。

今年はウサギ年で、3名の利用者様が「ウサギ年で年女よ」と、嬉しそうな笑顔もあり皆さんそれぞれの願いを込め、楽しみながら取り組みました。

中には「平穏無事に過ごせますように。」など、ユーモアある絵馬もあり、大変盛り上がりました。ウサギのように元気に跳ね、明るく前向きでより良い年にしたいと思います。



中核地域生活支援センターいちほら福祉ネット（千葉県委託事業）

相談援助職のためのそこが知りたい勉強会



中核センターでは現在、千葉県から委託された「重層的支援体制構築のための市町村支援事業」に基づき、市原市内の相談職の資質向上の取組みに力を入れています。その一環として、令和5年2月24日に『相談援助職のためのそこが知りたい勉強会』を開催いたしました。生活上のご相談を受けていると割と借金問題が出てきます。相談職の方からは実際どうしたらいいの？ということをよく聞かれます。そこで、千葉県弁護士会・社会福祉委員長でもあるたすく法律事務所の常岡久寿雄弁護士をお招きし、「債務整理と弁護士」について教えていただきました。債務整理の種類や流れ、弁護士をどう探したらいいかなど、すぐに実践に活かせる学びでした。

障害者グループホーム支援事業（千葉県委託事業）

第14回千葉県グループホーム大会 「未来に繋ぐグループホーム～今、求められているもの～」

第14回千葉県グループホーム大会は、令和5年2月1日から1ヶ月間、オンライン配信で実施し、申込者数660名、動画視聴数3,045回と昨年を上回る形で終わりました。内容がまとまっていて、わかりやすく、とても良かったという感想を多数いただきました。今般のグループホームの課題は質の向上です。今大会を足掛かりに、グループホームの質の向上につながり、利用者一人一人が安心して暮らしていけることを願っております。

未来に繋ぐグループホーム
～ 今、求められているもの ～

本日、お話しすること

1. 障害者グループホームについて
2. 千葉県でのグループホーム設置状況について
3. 障害者グループホーム等支援事業について



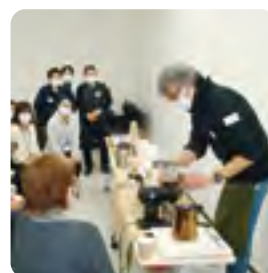
生活困窮自立支援事業 いちほら生活相談サポートセンター (市原市委託事業)

『みんなのカフェ』に来ませんか

「みんなのカフェ」は令和4年度から新しく始まった「市原市参加支援の場づくり事業」の愛称です。社会的孤立やひきこもりの状態にある方、就労に課題を抱える方などが社会参加の機会を持ち、ご本人に合わせたつながりを作っていくための“場”です。気兼ねなく過ごせるカフェタイム & おしゃべり、ゲーム、女子会、時には公園散策やオンライン座談会、ゲスト協力者をお招きしてアロマクリーム作りや美味しいコーヒーの淹れ方講座など、月1回程度開催しています。

今回掲載した写真はウエルシア市原国分寺台店2階の多目的スペース「ウエルシア・コミュニティセンターいちほら」にて開催された時のものです。年齢や性別を問わず、参加者の皆さんが笑顔にあふれ、ゲスト協力者や視察にいらした方々にも楽しんでいただきました。

ご興味がある方、参加したい、協力したいという方などいらっしゃいましたら、是非ご連絡ください。お待ちしております。



多分野連携研修

昨今、福祉の相談窓口は分野ごとに細分化されており、複合的な問題には複数の機関が協力する必要があります。そのため、11月8日と12月6日の2日間、各分野の主要な相談機関を対象とした「多分野連携研修～アウトリーチ支援のためのセミナー」を開催しました。市原市地域福祉計画の策定にも関わられた淑徳大学総合福祉学部助教の高梨美代子先生から講義と演習を受け、相談職同士がつながる有意義な研修となりました。



法人 HP、Facebook、求人情報はこちらから ▶

